

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(1)～(4)、もしくは(1)～(2)は段落番号を示す)

【第一文】

問題文については、著作権の関係で掲載いたしません。

【第二文】

問題文については、著作権の関係で掲載いたしません。

問一、文中の傍線 ①～⑤について、カタカナを漢字に、漢字を平かなに改めよ。

問二、文中の I と II のそれぞれに最も適切な語句を、次のア～オから選び記号で答えよ。

ア しかし イ つまり ウ なぜなら エ たとえば オ それゆえに

問三、【第一文】において、次の文に続くのが最も適切な文の冒頭の七文字を抜き出せ。

それは、生きる術を授ける宗教なのである。

問四、【第一文】の筆者が傍線1のように考える理由を第一文から一文で抜き出し、「から」に続くようにその最初と最後の三字を書け。

問五、傍線 A は茶席において具体的にどのような状態であることをいうのか。【第一文】より二十字以上二十五字以内で抜き出せ。

問六、【第二文】にある「異国ぶり」とはどのように振る舞うことをいうのか。【第一文】I の語句を用いて十五字以上二十字以内で答えよ。

問七、傍線 2 について、大衆化に成功した理由を「文化的権威」「精神的権威」「中流意識」いう三つの語句を用いて説明せよ。

問八、傍線 3 の「それ」が指す内容を本文中より十五字以上二十字以内で抜き出し、その最初と最後の三字をそれぞれ書け。

問九、A ～ C のそれぞれに最も適した語を本文中より抜き出せ。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

問題文については、著作権の関係で掲載いたしません。

問一、文中の傍線①～⑤について、カタカナを漢字に改めよ。

問二、文中のⅠ～Ⅲに入る最も適切な語句を、次のア～オの中からそれぞれ選び記号で答えよ。

ア さらに イ むしろ ウ すなわち エ あえて オ 例えば

問三、次の文はαに入る文である。文意が通るようにA～Fに入る最も適切な語句を答えよ。

このお店の一番高い焼き鳥1本の値段はAのB円、一番安いのはCなどのD円  
ですので、レンジ・メディアンだと最大値と最小値から、 $(B + D) \div E = F$ 円と  
なります。

問四、文中の傍線1「一挙に値が不正確になることもあります」とあるが、なぜ「極端に大きい数や小さい数」があるとレンジ・メディアンの値が不正確になるのか。その理由を説明せよ。

問五、本文の内容として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 日常から様々な状況を想定して、1円単位まで正確に計算できるよう練習しておいた方がよい。

イ 多くの数字の平均の値を正確に計算するには「レンジ・メディアン」という方法が最適である。

ウ 「レンジ・メディアン」は少しいい加減に見えるがデータの最小値のみから平均を見積もる方法である。

エ 「レンジ・メディアン」は著しく大きい数字が紛れ込んでいても、値が不正確になることはない方法である。

オ 問題の全体像を考えると、正確な計算ではないが「レンジ・メディアン」のような方法も必要となる。

問六、回転寿司屋さんに後輩と2人で行きました。1人当たり10皿食べ、追加で300円のあおさ汁を2杯と500円のコーラを1本頼みました。「レンジ・メディアン」を用いて合計金額がいくらぐらいになりそうか途中式も書いて答えよ。

回転寿司			
巻寿司	150円	いか	250円
いなり	150円	えび	250円
まぐろ	250円	あわび	350円
はまち	250円	いくら	350円
鉄火巻	250円	うに	350円
あなご	250円	とろ	350円